

令和6年度（2024年度） 入学式 式辞

新入生の皆さん入学おめでとうございます。

本日、本科学生321名、第4学年編入学生2名、そして専攻科学生36名が入学する運びとなりました。

幾多の選択肢の中から、若くして技術者の道を選ばれ本校を目指し、本日入学という栄冠を勝ち得た皆さんに、心からお祝いを申し上げます。

これからの「Society 5.0」時代、実践的技術者には、自身が描く「夢」を、工学技術を基に実現し、社会をも変える力があります。今、皆さんはそんな未来の技術者への道への途に就いたのです。

さて、本校では、産業構造の変革に向け、専門性の高い実践的な技術者の育成を目指し、特徴ある各キャンパス4コースの全8コース体制にて、皆さんをお迎えしています。それを聞くと、本科入学生の皆さんの中には、自分がどのコースが合っているか、不安な人がいるかもしれません。しかし、心配はいりません。本科第1学年ではものづくり工学科としてコース分けをせず、電気電子、機械、情報の基礎を学びます。そこでの学びを基にコースを選択し、第2学年より各キャンパス4つ、合計8つのコースに分かれ、それぞれの専門分野について深く学ぶからです。そして、本科卒業後は就職、本校専攻科への進学、そ

して大学への編入学という多岐にわたる進路が選択できます。

また、専攻科に進学した皆さんは、専門分野を更に深めることに加え、2年間をかけて研究を先に進めることができます。修了時には、大学卒業生に対し、本科5年生の1年間と合わせて3年間の研究歴という高いアドバンテージが得られます。それは専攻科修了後の就職や、大学院への進学時に大いに役立てることができるでしょう。

そんな本校は、これまで、未来を創る人材の育成の観点から、時代や社会の要請にマッチした新たな教育に、絶えず挑んできております。これまでの卒業生や修了生の活躍が、東京都、国、そして産業界から高く評価されており、皆さんも、これからの「Society5.0」時代を牽引し、技術を活用してSDGsの実現に貢献し、更に、新たなサービスや産業の創出の中核ともなりうる人財として大いに期待されています。

近年の例としては、昨年夏の異常な暑さにより「地球沸騰化」という言葉が世界で使われ始める前に、本法人は、2021年7月には気候非常事態宣言を発出し、本校でも既にSDGsに係る研究や教育、学生活動等の様々な取り組みを進めております。また、新たなサービスや産業の創出に向け、有楽町にTokyo Innovation Baseを設置するなど、スタートアップに係る施策を強化している東京都からの要請に応え、本校でも昨年度より、スタートアップ教育支援

プログラム「地動計画」を開始しました。

そんな本校にて新入生の皆さんには、まず様々なチャンスを活用して、好きだな、やってみたいと思う事に積極的にチャレンジしてほしいと私は願っております。その中で、時間をも忘れて熱中できる事が、将来の実現したい「夢」に繋がるのではないのでしょうか。

吉田松陰氏は、「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。」と語っています。「夢」から成功した先輩は多数います。「夢」はその実現のために幾多の苦難を乗り越えるカーパッション-情熱を与えてくれるからです。例えば、初代マッキントッシュに「夢」を感じたある卒業生は苦難を乗り越え独力でアップル社へ入社し、更に「その先の夢」を実現すべく、アメリカ・シリコンバレーのGoogle社に入社し、現在でも活躍を続けております。

主役は皆さんです。将来の「夢」に繋げるためにも、自分で感じることを大切に感性を育ててください。そして、いろいろな人との対話も重要です。対話が技術を深く理解することを助け、自分の発想を広げ、自身の「夢」に繋がるきっかけになるかもしれないからです。そして、「夢」を見つけたら、情熱を注いでその実現に果敢に挑んでいってください。

われわれ教職員は全力で、皆さんを応援します。本日ここに集った多くの仲

間とともに東京都立産業技術高等専門学校という舞台でみなさんが主役になって活躍し、叶えたい「夢」を見つけてください。最後に、皆さんが本校における学生生活を大いに謳歌し、ここに集う学友と共に素晴らしい未来を築くことを祈願して、式辞といたします。

令和6年4月2日

東京都立産業技術高等専門学校

校長 吉澤 昌純